

## 平成30年度 第2回 岐阜県立池田高等学校活性化協議会 議事要旨

日 時	平成31年2月6日(水) 13:30~15:30
場 所	池田高等学校 会議室
出席者 (敬称略)	飯 田 静 世 神戸町子育てボランティア団体代表 小 川 幹 雄 神戸町立神戸中学校長 国 枝 慎太郎 岐阜県議会議員 小 林 月 子 サンビレッジ国際医療福祉専門学校長 谷 村 成 基 神戸町長 西 川 菊 雄 池田町上田区長 野 原 恵 子 元池田高等学校育友会役員 藤 井 弘 之 神戸町教育長 牧 村 範 康 岐阜県議会議員 松 岡 政 美 池田町商工会長 山 川 実 池田高等学校育友会長 吉 田 秀 慈 池田町立池田中学校長  松 井 千 昭 池田高等学校長 高 橋 宗 彦 県教育委員会教育総務課教育主管
議事概要	1 学校長挨拶・今年度の取組説明 2 先進校視察報告 3 生徒発表 ・大学合格体験 ・マレーシア研修 ・MSリーダーズ活動 ・科学部活動  4 意見交換 テーマ：「地域と連携し活力ある池田高校にするための取組について」 ① 池田高校生は地域に根差した連携の中で、伸び伸び育っている。入学してからの指導が課題である。他校の視察報告を聞いて、同レベルの学校の取組と比べて、まだまだ池田高校は伸びる可能性があると思われる。中学生の保護者は、高校卒業後の進路を見て、高校選びを考える。地域との連携だけでなく、そのことを考えてアピールしていくとよい。池田町の中学生が入学したいというような活動をして、アピールすることが大切である。 ② 池田高校は地域への貢献度が高い。MSリーダーズやハリヨを守る会での活動が素晴らしい。交通安全運動など、生徒が中心となってやっている。特に、ハリヨの研究はよくやっている。神戸町でも小学校でやっていた。研究の成果に期待し、支援したい。 ③ 学校視察報告にもあったICT教育について、今後、具体的な推進計画はあるのか。神戸町でも、ハード面を含め、ICTについて推進計画を進めている。実物投影機の利用など、県教育委員会として、また池田高校としてどのように進めていくのか。

- ④ 出前授業について、3年生ではある程度希望が決まっているので遅すぎる。2年生で授業をしてほしい。池田中でもプロジェクターを設置し、デジタル教科書を使っている。池田高校でも、実際に使っているところを見せてほしい。中学生の保護者へのアピールの仕方を工夫してほしい。
- ⑤ 今日の生徒の発表は堂々としていたので、中学校でも発表して、子どもたち同士のつながりを作り先輩のやっていることを後輩に見せてもらいたい。近くて、通学するには便利である。そのような近い高校で、自分の学力を上げることができるというところを中学生に見せるとよい。
- ⑥ 人口減少が問題である。それを止めるために、住みやすい街にして、地元に住んでもらいたい。地元の応援をいただける学校にするためには更なるPRが必要である。ボランティア活動などを地元の人に応援してもらえるようなレベルにするとよい。
- ⑦ 年々生徒の発表が素晴らしくなっている。授業参観の感想として、どの授業も先生が笑顔で、わかりやすい授業がなされていて、素晴らしい。ボランティア活動も盛んで、神戸町でも池田高校の頑張りを伝えたい。
- ⑧ 地域で経験できることを通して、チャレンジすることに慣れるとよい。池田町は「福祉のまち」である。「人を助けること」や福祉について学び、実践できるようになるのを助けるのが地域の役割である。サンビレッジの3つの科のことを知らない人も多いが、体験のチャンスを提供し、それらを活用して学んでほしい。人材育成を援助したい。
- ⑨ 東地区では「ほたる祭り」をやっているなので、蛍の研究もしてもらいたい。昨年、防災講話に参加した。池田高校に発電機など揃えてほしい。三町大橋の舗道の防護柵がなく、通学に危険である。道路側に倒れるなど心配であるので、学校側でも安全に配慮してほしい。
- ⑩ 体験から学ぶのはとても良いことである。ハリヨを守る会でお年寄りと触れ合ったり、ボランティア活動で幼児と触れ合ったりする経験が大事である。できるだけ多くの生徒にやってほしい。
- ⑪ 育友会も一生懸命やってもらっている。池田高校はいい学校である。

## 5 教育総務課講評

- ①以前は、県立高校と地元とのつながりは希薄であったが、近年は国も、地元とのつながりを推進している。高校への進学率は98%で、子どもたちが、まとまって過ごす最後の機会である。地域に戻ってきたいという視点をもてるようになるのが、高校生の年齢である。高校と地域のつながりは重要であるので、高校においても「ふるさと教育」が必要である。故郷のことを学び、自分で考え、発信させることが必要である。ただし、発表だけで終わってはいけない。地域を出てもここでの学びや体験が生きるのがよい。
- ②ICTについて  
 県立高校63校の全HRと選択教室にホワイト黒板設置する予定である。また、固定式プロジェクターを付けて電子黒板化し、指導者用タブレットを準備する。時期としては、来年の夏休み明けには設置完了予定である。

## 6 学校長挨拶

来年度も本会は続くのでよろしくお願ひしたい。  
 新たに「学校運営協議会」を立ち上げる。地元就職する生徒や、進学後地元に戻って活躍する生徒を育てたいので、ご協願ひしたい。